

# わいわい 通信



私達の地域活動が始動したのは、なんとてんに係る会発足の1982年1月。本年で40周年を迎えました。多くの方々の支えをいただき心より感謝申し上げます。さて、人智を超えたコロナ禍が収まらないうちに、ウクライナが戦場となる人為的な災いが歴史に刻まれました。一夜にして生活の基盤が崩壊する時代に生きていることを心に刻みつつ、”支えながら共に暮らす”を追い求めていきたいと思ひます。

## お品書き

- グループホーム
- あったかほーむ
- あったか保育室つぼみ
- クラブハウスわらく
- 共生ホームきらく

## あんしん なっとく じゅうじつ の生活



### NPOの活動報告 (2021年1月~2021年12月)

- 1月16日 つぼみ 地域活動 (スタンプラリー)
- 2月18日 GHわいわい 外部評価調査
- 3月11日 理事会
- 4月2日・3日 ましろ 彦根城ブルーライトアップ参加
- 5月29日 総会
- 6月 1日 障がい者GH はいつ開設
- 6月 5日 南花 Kさん一周忌法要 (真明寺)
- 7月31日 つぼみ農園 収穫祭
- 8月21日 南花 夏祭り食事会
- 9月26日 石部南自治会 草刈り
- 10月28日 消防設備点検 (~29日)
- 11月 1日 すずらんホーム ホーム旅行 第三者委員会議
- 11月20日 つぼみ農園 収穫祭
- 12月24日 GHわいわい 19周年記念クリスマス会

月1回 障がいホームサポート会議、わいわい運営会議、あったか・つぼみ運営会議  
隔月 わいわい運営推進会議 (書面)、障がいホーム長会議

わいわい日中ボランティア。  
**募集中** 時間：おまかせ。  
月1回でもかまいません。  
お話相手、散歩・買い物  
などなど。



お問い合わせ NPO法人事務局

TEL 0748-60-2903 FAX 0748-60-2907



## この街で……50年

理事長 中川 豊

今年は、自分にとっていろんな意味で大きな節目ではないかと思っています。この仕事について、また、この街でいよいよ50年を迎えます。

ホワイトハウスのOさんと顔を合わせると、最近は、決まって「中川さんとの付き合いも50周年になる」と言って笑って近づいて来てくれます。こちらも、「ハッ」として「そうやね、長いお付き合いやね。」と言って笑顔で返します。「50年か……」いろんな人と出会ったり、別れたり、また、新しい出会いがあったり、それぞれの人達の歩みを目の当たりにしてきたなぁと感慨をあらたにしています。

今、このNPOにご縁があって多くの人が集まっていたいています。

改めて感謝申し上げます。

これからも、この出会いを大切に、根をはって年輪を重ねてまいりたいと思っている今日この頃です。



画) 中川 豊



## 新しい「あったかほーむ いしべ宿」

スタッフ 田中 典子

私が「あったかほーむ いしべ宿」に来て1年が経ちました。

1年経ってみんなが、私の名前を呼んでくれるようになりました。

最初は、「なかたさん」と呼んでいた子も「たなかさん」、「たなかせんせい」と呼んでくれてとても嬉しいです。

今年3月には引っ越しました。家庭的な家から大きな部屋へ変わりました。走りまわる子、広くておちつかない子、1か月がすぎ、だんだん慣れてきて、自分のやりたいことを見つけるようになってきました。大きなソファはみんな大好きで、座ってテレビを見る子、ゴロンと寝ころがる子もいます。

暖かくなってきたので、外へ散歩に出かけています。散歩中、電車が見えるとみんなで手をふっています。4月になってからはあみをもって、バッタやザリガニを探しながら散歩しています。散歩の行く先には、公園があります。ブランコ、シーソー、ジャングルジムで遊んで帰ります。

これからも季節ごとにいろんな遊びを見つけ、子どもたちと楽しくすごしていきたいです。





## 成年後見活動を通して思うこと

木村 真由子

甲賀市社会福祉協議会 ケアプラザセンターぬくもり

成年後見の活動を通して初めてワイワイあぼしクラブさんを知りました。私は高齢福祉の分野で仕事をしているので、知的な障がいのある方のグループホームでの生活がどういうものなのかほとんど知りませんでした。担当させていただいている利用者さんや世話人さんと毎月お会いしてお話しを伺う中でだんだんと知る事になりました。現在ワイワイあぼしクラブさんのグループホームに私の担当する2人の利用者さんが住まわられていて、お二人ともその人らしい生活をされていると感じています。コロナ禍の前は海外旅行に行かれたり、ご結婚されて式を挙げられました。そのためのサポートや引っ越しのサポートをしていただいたりといった高齢福祉では考えられないような支援をしていただいたことは私の後見活動の中で大変勉強になりました。そういった大きな出来事ではなくても日常の温かい細やかな支援をたくさんいただいています。もしも施設におられたらここまで自立されることはなかつたろうと思える A さん、親元から離れて入居されたことで生活の質が上がった B さん。お二人の成長や変化を大変嬉しく感じています。これからもどうぞよろしく願いいたします。

## Myほーむ

いってらっしゃい！

おかえり～！

安心して帰れる場所

主任世話人 川端 かおる

私が My ほーむへ来て 4 年が経ちました。

令和 3 年度は入れ替わりも多く、今現在、19 歳から 58 歳までの、男性 9 名の方が生活されています。

一緒に過ごす時間が長くなる程に、最初は無口な住人さん達も色々な気持ちを伝えてくれるようになりました。今日あった事、仕事の愚痴、冗談を言ったりツッコミまで入れたり少しずつ、家に帰って来てホッとしている安心感を感じます。そしてそれが住人さん同士の会話になり、コミュニケーションが広がっていきます。そして困っていることを助け合うようになり、ゆっくりと信頼関係が生まれているように思います。

土日も住人さん同士が誘い合ってキャッチボールへ行ったり、コンビニへ行ったり 1 人で過ごす時間も好きだけどみんなの事も気になる。

年齢差があってもなんとなく仲良し？この気持ちってなんだろう？

住人さんが少しずつ少しずつ新しい自分に出会えるように、私は今日も一日よう喋ったなあと思い返し、明日も笑顔で住人さんの「行ってきます！」「ただいま！」を待っています。



# グループホームわいわい

～ほっこり・にっこり～



## 「わいわいらしさ、その人らしさ」

グループホーム わいわい  
管理者 山本 菜々美

わいわいで暮らす9名様のお部屋はそれぞれ異なる香りがします。  
入居前には畳を変えたり、修繕を行ったり、お部屋は一旦空っぽになります。  
人の気配がない無機質な部屋は、これまで生活されていた方の思い出だけを残し寂しさを募らせます。新しい方が入居されると同時に荷物が運び込まれ、再び住まいとしての新章が始まります。その際、これまで大切に用いられた家具や寝具、衣類からお一人ずつの生活の香りを感じます。  
よそのお家にお邪魔した時に、玄関で感じるあの感覚です。

感染症対策のためにはとても大切なアルコール消毒は、どこか病院のにおいを彷彿とさせることがあります。世の中の情勢を顧みれば慣れるべき感覚なのかもしれませんが、暮らしの感覚としてはどうでしょう。

専門性が表に出てどこか気忙しく思う時、ご飯を作る音やにおいを感じながら献立の話をしたり、風の温度や日差しの眩しさを感じながら天気や季節の話をしたり、そういった目で見える雰囲気・耳で聞く音・漂う香りが五感をくすぐり、日常に呼び戻してくれます。今日も「いつも通り」と「らしさ」の気づきを心がけています。





### インフォメーション

#### <新しいカタチのホーム推進>

戦後の荒廃した社会のなかで路上生活をしてきた子どもを保護し教育を施し仕事に就けるよう職業訓練する施設として1946年に近江学園が津市南郷に設立されました。その後、人として当たり前の生活を保障するノーマライゼーションの理念により、「小規模・地域密着型」のグループホーム(GH)が望ましいという施策の枠組み転換がありました。

昨年2月には、GHに住む人が14万人に増え入所施設(12万人)を超えました。国では、GH制度の在り方を検討しており、新たな類型(本人が希望する一人暮らし等に向けて支援するホーム)のイメージも昨年11月に示されました。当法人では、今後とも本人のニーズに応じた支援の質を充実しつつ、既存の資源を活用したホーム(多世代共生ホーム・アパート型ホーム)など共生社会に求められるホームづくりを推進します。

#### <当法人理事：宇野正信さん>

この春の叙勲で、長年にわたり公教育に従事し功績をあげられたことに対し、瑞宝双光章を受章されました。宇野さんからは「昭和49年、近江学園の中にある東寺分校に新任教師として赴任し、そこから23年間、養護学校や中学校で教員生活を送りました。その間、ただただ子どもたちと遊んでいただけなのに、こんなに評価をいただき、驚いています。これからも、障がいのある人たちのお手伝いを続けます。」とコメントをいただきました。誠におめでとうございます。ますますのご活躍をお祈り申し上げます。

## 「シンガポール」

平成9年10月、グループホームの有志とNPOの関係者でシンガポールに行った。何故シンガポールとなったかは記憶にないが、道中いくつものエピソードがあった。

シンガポール到着後、空港からホテルまでのバスの中で何やら桑原君がぶつぶつ言っている。いつものように山ちゃんに通訳をしてもらおうと「道路法面の草が伸びてるので刈らんとアカン」ということであった。旅先に来てまでの仕事意識に「さすが桑原君！」と声が上がった。

その山ちゃんは狭い機内での身動きは難しく、私が機内食の殆どを手伝うことになった。山ちゃんと私が2回の機内食と1回のティータイムを済ませてふーっと息をつくつと、飛行機は着陸態勢をとっていた。

また、いつもの様に閑空からマイペースで旅を楽しんでいた佐々木君が、大道芸人の差し出す大蛇を首に巻いて皆を驚かせた。

そんな珍道中を、旅行に同行された奥村昭二さんはニコニコと優しく見守られた。昭二さんは、なんてんの立ち上げからずっと応援をいただき、また長く監査役も勤めていただいた。

それに、NPOでも「さん・れいく」(南花の前身)のお泊りボランティア等でご活躍いただいた。「オーレックス」の会長の傍ら、私たちがめざす助け合い支え合い、共に生きる地域づくりにも大いにお力をいただいた。

その昭二さんが、年が明けて亡くなった。今は亡き桑原君の得意満面の笑顔と、昭二さんの優しい笑顔が忘れられない。(み)





[NPOワイワイあぼしクラブ 関連事業所の住所・連絡先]

●あったかほーむ いしべ宿(しゆく)

〒520-3107 湖南市石部東二丁目1番36号  
TEL 0748-77-6723 FAX 0748-64-9065

E-mail: attaka-home-ishibesyuku2022@leto.eonet.ne.jp



●高齢者グループホーム わいわい

〒520-3107 湖南市石部東七丁目5番25号  
TEL/FAX 0748-77-5741

E-mail: gh-waiwai-shiga@gaia.eonet.ne.jp



●障がい者グループホーム すずらんホーム

〒520-3108 湖南市石部南七丁目9番20号  
TEL/FAX 0748-77-4274

E-mail: qpmx33521@nike.eonet.ne.jp



●障がい者グループホーム ホワイトハウス

〒520-3108 湖南市石部南六丁目9番29号  
TEL/FAX 0748-77-3130

E-mail: pskm67097@ares.eonet.ne.jp



●障がい者グループホーム 南花(さざんか) & ひまわり棟

〒520-3108 湖南市石部南五丁目4番4号  
TEL/FAX 0748-77-4791

E-mail: wac-sazanka@dream.jp



●障がい者グループホーム Myほーむ

〒520-3108 湖南市石部南五丁目5番36号  
TEL/FAX 0748-60-1157

E-mail: vpkv25205@ares.eonet.ne.jp



●障がい者グループホーム ましろ

〒520-3108 湖南市石部南七丁目8番5号  
TEL/FAX 0748-60-2233

E-mail: wac-mashiro@dream.jp



●障がい者グループホーム はいつ

〒520-3105 湖南市石部西三丁目3番37号



●クラブハウスわらく(あぼし相談支援センター・あったか保育室つぼみ)

〒520-3107 湖南市石部東七丁目3番18号  
Tel/Fax 0748-60-6643(相談) Tel Fax 0748-60-4810(つぼみ)

E-mail:(相談) wac-soudan@ares.eonet.ne.jp (つぼみ) tsubomi@dream.jp



●多世代共生ホーム きらく

〒520-3107 湖南市石部東七丁目3番20号  
TEL/FAX 0748-77-5741 (GHわいわい)

E-mail: gh-waiwai-shiga@gaia.eonet.ne.jp



●法人事務局(ほっと館 2階)

〒520-3107 湖南市石部東二丁目1番36号  
TEL 0748-60-2903/FAX 2907

E-mail: houjin-jimukyoku@dream.jp



<編集後記> 田を渡る風が気持ちの良い季節となりました。この春、初めて耕運機や田植え機に乗って稲の植え付けをしました。早々と実りの秋を楽しみにしています。春から夏へ移ろう時期、お体を大切にお過ごしください。(城)

<お願い> 会員の皆さまへ。ひき続き、新規加入者(正会員・賛助会員)のご紹介および、今年度の会費の納入をよろしくお願いたします。